



白河市 議会だより

2021

5/1

VOL.62



「楽翁桜」



御鎮座祭に参列した渋沢栄一
(左4人目/大正11年6月13日撮影)
「南湖神社」社号標は渋沢栄一書



〈令和3年3月定例会〉

目次

- 3月定例会・総括質疑…………… 2～5p
 - 各常任委員会の審査…………… 6～9p
 - 一般質問…………… 10～17p
 - 議員提出議案・請願・
陳情・意見書…………… 17p
 - 6月定例会予定…………… 18p
- 人事案件
議員研修会
編集後記

令和3年度予算総額474億9,360万円を可決

コロナ予防接種事業及び

2/13発生地震災害復旧事業(令和2年度予算)の専決処分*を承認

令和3年度一般会計補正予算(コロナ感染対策事業)を可決

3月定例会が2月25日から3月15日までの19日間開催されました。新型コロナウイルス予防接種事業(2,481万3千円)及び2月13日に発生した地震により被災した道路や施設の復旧に要する経費予算(6,889万円)の専決処分、令和3年度当初予算、飲食店等緊急応援事業(割引クーポン券1億1,865万円)などの令和3年度補正予算を含む議案45件について審査し、いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。

一般質問は3月3日から3日間、総括質疑は3月8日に行われ、18人の議員が登壇し、市政全般にわたって議論が行われました(質疑は5頁、一般質問は8~17頁)。

また、「将来を見据えた新型コロナウイルス感染症対策に関する決議」を含む議員提出議案4件について全会一致で原案可決、市民からの請願1件は採択、陳情1件は不採択になりました(17頁)。

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案…45件
- ◆議員提出議案…4件(3・17頁)
- ◆請願・陳情……2件(17頁)
- ◆報告……………1件

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



◆予算総額 474億9,360万円

会計区分	令和2年度 A	令和3年度 B	比較増減	
			増減額(B-A)	伸び率(%)
一般会計(議案19号)	311億2,000万円	287億2,000万円	▲24億円	▲7.7
特別会計(議案20~26号)	121億8,112万8千円	121億5,325万5千円	▲2,787万3千円	▲0.2
企業会計(議案27~29号)	66億8,345万5千円	66億2,034万1千円	▲6,311万4千円	▲0.9
合計	499億8,458万3千円	474億9,359万6千円	▲24億9,098万7千円	▲5.0

議案19号 令和3年度白河市一般会計予算

287億2,000万円

(前年度比24億円 ▲7.7%)

重点推進事業分
72億4,622万円は
4頁に掲載

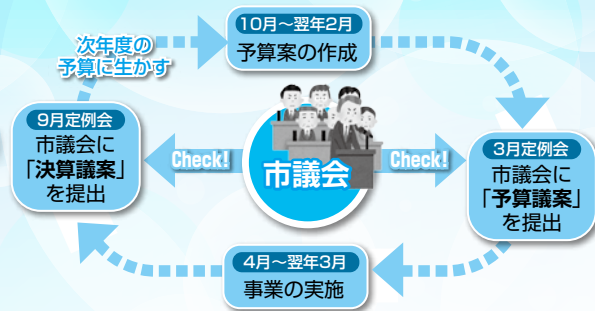
歳入			歳出		
内訳	金額	増減	内訳	金額	増減
一般財源	179億9,226万円	(▲1.2%)	義務的経費	130億5,147万円	(+1.6%)
市税	85億8,366万円	(▲6.2%)	人件費	48億1,584万円	(▲0.8%)
地方交付税等	74億2,794万円	(+4.7%)	扶助費	51億2,357万円	(+5.5%)
各種交付金	19億8,066万円	(+0.7%)	公債費	31億1,206万円	(▲0.9%)
特定財源	107億2,774万円	(▲16.9%)	投資的経費	40億2,744万円	(▲42.5%)
国県支出金	67億4,389万円	(▲1.2%)	主なもののうち道路・街路整備	15億552万円	(+7.3%)
繰入金	10億5,608万円	(▲24.3%)	学校整備	11億3,717万円	(+5.6%)
市債(注)	19億6,040万円	(▲46.0%)	防災施設整備等	4,519万円	(▲97.3%)
その他	9億6,737万円	(▲9.1%)	一般行政経費	116億4,109万円	(+3.4%)
			主なものの新型コロナウイルス感染症対策	2億5,737万円	(皆増)
			緊急浚渫推進事業(河川)	1億5,500万円	(皆増)
			道路維持管理	1億4,000万円	(+53.0%)

(注) 臨時財政対策債を除く



*議会を招集する時間的余裕がないことが明らかで、災害などの緊急時に対応できる仕組み。専決処分後に議会の「承認」が必要になります。

3月定例会



「将来を見据えた新型コロナウイルス感染症対策

に関する決議」を3月15日に全会一致で可決

白河市議会は、市と連携・協力し、新たな価値観にあった暮らしを実現できるまちづくりを全力で取り組む決意です。



市議会を代表して菅原修一議長が鈴木和夫市長に決議書を手渡しました。

決議の要旨

市議会では昨年6月定例会で新型コロナウイルス感染拡大防止策、安心できる教育環境づくり、各種産業への市の独自支援、将来を見据えた事業の実施及び財政運営の4項目についての対応を求める決議を行いました。

今定例会では、社会生活や健康に関する不安解消や経済の活性化などの課題を解消するためにはこれからの正念場であり、将来を見据えた市政運営が必要であることから、下記について迅速に取り組むよう要望するものです。

- 1 市内事業者やひとり親世帯などに対する市独自の支援策の充実
- 2 ワクチン接種に関するきめ細やかな情報提供と、集団接種が困難な高齢者等への対策
- 3 感染収束後の社会経済の変動を見据えた事業展開
- 4 思いやり条例の理念を遵守し、市民が互いに支えあう地域社会の実現



- 提出者 高橋光雄
- 賛成者 大花 務
佐川京子
筒井孝充
山口耕治
柴原隆夫

～議会からのお願い～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続きマスクの着用、3密回避、手洗いや手指の消毒を！
思いやりの心で感染した人をサポートし、誹謗中傷から守り、温かく迎えましょう！

議案19号 令和3年度白河市一般会計予算

287億2,000万円のうち 重点推進事業分 72億4,622万円 の主な事業をお知らせします

質疑を
5頁で紹介
しています

1 安全・安心プロジェクト 10億7,446万円 (20事業)

新型コロナウイルス感染症への対応	
継続	ワクチン接種事業 2億2,936万円
継続	発熱外来の継続実施 1,956万円
防災・減災対策	
新規	緊急浸 ^{しみんせつ} 深 ^{しんせつ} 推進事業 1億5,500万円
継続	緊急自然災害防止対策事業 1億円
大規模な浸水災害を防止するため、河川に堆積した土砂の除去や護岸の改修	
新規	土のうステーション設置事業 430万円
浸水被害の防止と防災対策を自助・共助により実施するため、土のうステーションを各地域に設置	
拡充	一般公開用地理情報システム (GIS) 整備事業 542万円
災害発生時に浸水、土砂崩れ、通行止め等の情報を市民へ速やかな提供	
安全対策	
継続	園児の散歩道安全対策事業 1,000万円

← 質疑5

← 質疑3

2 健康・福祉・医療プロジェクト 9億1,941万円 (45事業)

新規	健康ポイント事業(アプリを活用した健康プログラムの導入により、健康寿命を増進) 3,215万円
拡充	重度障がい者支援事業(県内での医療費の現物給付(窓口負担なし)を実施) 1億1,914万円
拡充	高齢者見守り生活支援事業 521万円
拡充	こども医療費助成事業(医療費の現物給付(窓口負担なし)区域を全国に拡大) 2億8,158万円

← 質疑4

3 産業・雇用プロジェクト 10億9,425万円 (46事業)

新規	女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業(仕事と子育ての両立を支援) 611万円
新規	ディスカバリー白河農活事業(就農全力バックアップ事業) 90万円

4 教育・文化・生涯学習プロジェクト 21億3,408万円 (47事業)

新規	アートによる文化振興事業(文化芸術活動による人づくりやまちづくりを推進) 294万円
継続	南湖公園史跡整備事業(歩行者が安心して散策できる園路整備) 4,675万円
継続	清水門復元整備事業 1,307万円
継続	小中学校基礎学力向上推進事業 3,960万円

← 質疑1

5 都市基盤プロジェクト 17億8,648万円 (19事業)

新規	循環バス新ルート検討実証実験事業 642万円
継続	地域内移動支援事業(高齢者等を対象としたバス及びタクシー運賃の一部を助成) 1,109万円

6 コミュニティ・環境等プロジェクト 2億3,754万円 (18事業)

新規	複合施設整備事業(市民会館跡地に建設する複合施設の基本設計に着手) 5,236万円
新規	しらかわ移住魅力発信事業(白河暮らしの様子をYoutube等で全国へ魅力発信) 798万円

← 質疑2

深谷 弘

議案19号

令和3年度白河市一般会計予算

質疑4

重度障がい者支援事業

問 重度障がいの者の医療費支払いが、「償還払い」(病院窓口で支払い、償還手続きで戻る)から、「現物給付」(県内の医療機関等の窓口を受給者証を提示することで窓口負担がなくなる)に変更されたことは評価できる。これまでは要求しても「できない」という答弁だったが、変更になった経緯はどういうものか。

答 これまでは、医療費増加が懸念されることや新たな経費が増加すること、「現物給付」に伴う国庫負担金の減額措置があること等の理由でできなかった。昨年来のコロナ禍を通じ、社会的弱者の支援策が求められており、日常生活の安心・安全の確保に配慮し実施となった。

質疑5

土のうステーション設置事業

問 市内10地区に土のうステーションを設置する予算が計上されているが、具体的な場所、運営はどうなるのか。

答 設置場所は、本庁舎及び表郷、大信、東庁舎に加え、大沼、白坂、小田川、五箇、古閑、関辺の各行政センター。市民や町内会などが近隣の土のうステーションから土のうの運搬・設置・撤去及び保管・処分を行う。



土のうステーション

大木 絵理

議案19号

令和3年度白河市一般会計予算

質疑2

複合施設整備事業

問 複合施設の基本設計に2年間で1億2,850万円。事業の趣旨と内容及び積算根拠の説明を求めます。

答 同事業は市民会館跡地に整備を予定している複合施設の「基本設計」を行うものである。「設計委託料」は福島県において用途や人員数、材料や機械の使用量等を標準化した「基準」や「要領」を用いて設計・積算している。約5,500万円が測量設計料、約7,191万円が施設基本設計料となる。

問 財源について

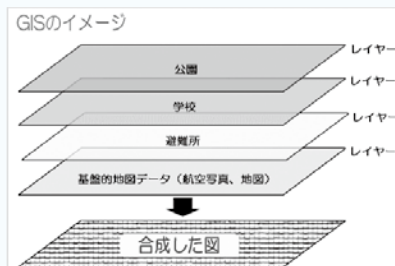
答 財源である公共施設等整備基金の残高は38億5,600万円程度である。

質疑3

一般公開用地理情報システム(GIS)整備事業

問 同事業について

答 「地理情報システム(GIS)」とは、地目・地積等の土地情報をはじめ、危険区域、医療機関、高齢者世帯などの位置情報を重ねたものであり、新たに導入するシステムでは、広く市民の方々も、市のホームページを介して地図情報の一部を閲覧できるようになる。また、災害時には土砂崩れや浸水、通行止めなどを地図上に速やかに公開することが可能となる。



高橋 光雄

議案7号

白河市霊園維持管理基金条例

問 本市は、(公財)白河観光物産協会から羅漢山霊園の整備及び管理運営に係る事業を譲り受けるが、管理の人員体制に変わりはないか。引き継ぐ資産はいくらか。

答 人員体制に変わりはない。資産は、3月中に1,200万円を引き受け、白河市霊園維持管理基金を設置する。残る流動資産は、観光物産協会の決算で確定することから、6月末を目途に残金を引き受け基金に繰り入れる予定である。

議案8号

白河市合併振興基金条例を廃止する条例

問 基金がなくなること、地域振興に影響がないのか。

答 影響はない。これまで同様、バランスよく市全体の振興を図る。

議案19号

令和3年度白河市一般会計予算

質疑1

小中学校基礎学力向上推進事業

問 事業費の使われ方とさらなる学力向上のために何をするのか。

答 小学校の英語指導、中学校数学科指導の教員配置、個別学習支援の教員配置などに使っている。さらに学力テストにおいて、すべての教科が全国平均を上回るよう努める。



子どもたちの創造性を育む教育を!



質疑とは、議会に提出された議案について疑問や不明確な点があるときに説明を求めもの。提案された議案に関係することしか質問できません。3月定例会では、一般質問(P10~17)と分けて行っています。

総務 常任委員会

SNSで白河の魅力を発信し、二地域居住や移住を促進

令和3年度一般会計予算のほか、議案15件が付託されました

● 議案第6号 白河市特別会計条例の一部を改正する条例

Q | 国有林野払受費特別会計及び教育財産特別会計の廃止後の山林等の管理方法について

A | この特別会計が廃止されても、従来の担当課でそれぞれ管理し、令和3年度からは一般会計で事業管理していくこととなる。

● 議案第33号 令和2年度白河市一般会計補正予算（第10号）

Q | 歳入に係るたばこ税1,341万円の増額補正について

A | 近年、たばこ離れが進み、売渡本数は年々減少傾向にあるため、その傾向は更に進むと想定し、税収を低く見込んだところ、減少幅が見込みより少なかったため、結果として増額補正となったものである。

● 議案第19号 令和3年度白河市一般会計予算

Q | 女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業の内容について

A | 複合施設に導入する官民連携事業を検討するにあたっての実証実験として、女性に寄り添った仕事と子育ての両立を支援するため、子育ての空白により就職に不安がある女性などを対象としたワークショップやセミナー、女性の就労に関する企業ニーズ調査等の実施を予定している。その実証実験の結果を踏まえ、例えば、子連れ相談ができる民間型ハローワークのようなサービスの導入について、関係機関と連携を図りながら、どういう機能を取り入れるべきか検討していきたい。

Q | 市税の固定資産税2億9,415万3千円の減額について

A | 令和3年度は、令和2年2月から10月までの任意の3カ月間の売上高が、前年と比べて50%減少するなどの条件により、償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税の軽減措置があり、その分も含めて減額となっている。なお、その軽減措置分については、国から地方特例交付金により全額措置される。

Q | しらかわ移住魅力発信事業について、どのようにして白河の魅力を発信していくのか。

A | コロナ禍により二地域居住や移住希望者が増加する傾向にあることから、白河の魅力を発信する方法として、インフルエンサーが実際に本市に居住し、地域との交流や日々の暮らしの様子などリアルな情報をYouTube等で発信していく。



移住定住ガイドブック

付託された議案は、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。

市民産業 常任委員会

除去土壌は令和3年末に中間貯蔵施設に全て搬出完了予定

白河市霊園維持管理基金条例のほか、議案10件が付託されました

議案第7号 白河市霊園維持管理基金条例

Q | 3地域の霊園の維持管理基金を統一するにあたり、これまで各霊園において所有していた基金の利活用について

A | 各霊園における統合前の基金の有無や残高に関わらず、統合後も地域ごとの霊園事情に鑑み、適切な維持管理に使用していきたい。

議案第19号 令和3年度白河市一般会計予算

Q | 現在の白河市農産物ブランドの商品数と成果、今後の具体的取り組みについて



白河市農産物
ブランド

A | 現在31品目を認証しているが、販路拡大等における課題が見えてきたため、令和2年度にブランド方針の見直しを行った。令和3年度からは新たな認証制度によりリーディングブランドの選定、パッケージデザインの見直しといった、商品の磨き上げ等販路拡大に向けた支援を行い、白河ブランド全体の底上げを図っていく。

Q | 仮置き場の現状と復旧状況、今後の利用計画について

A | 除去土壌は令和3年2月末現在、白河地域の仮置き場に約7万8千袋が残っているが、令和3年末に中間貯蔵施設に全て搬出を完了する予定となっている。また、東、表郷地域の仮置き場は現状復旧が完了し、大信地域は半分が令和2年度に現状復旧が完了し、令和3年度には残りの半分も完了見込みである。今後とも環境省と連携し事業を進め、仮置き場の今後の利活用については市全体で検討していきたい。



大信地域仮置き場搬出完了

議案第33号 令和2年度白河市一般会計補正予算（第10号）

Q | 新型コロナウイルス感染症対策協力金が当初見込み額より確定額が大きく減少した要因は

A | 予算の事業所数774件は、対象事業者の最大数を見込んだことから減額することとなった。

議案第44号 令和3年度白河市一般会計補正予算（第1号）

Q | 第2弾消費喚起クーポンの対象店舗以外に拡充するなど、第3弾に違いはあるのか。

A | 第2弾と同様、飲食店、小売業、サービス業を対象に参加店舗を募集するとともに、一世帯につき5千円の割引クーポン券を配布し、消費喚起を図ってきたい。



付託された議案は、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。

教育福祉 常任委員会

移動販売車を追加購入し、市内全域で高齢者の見守りを兼ねた移動販売を実施

白河第二中学校建設事業電気設備工事請負契約の一部変更についてのほか、議案19件が付託されました

議案第16号 白河第二中学校建設事業電気設備工事請負契約の一部変更について

Q | 白河第二中学校建設事業電気設備工事請負契約の金額変更について

A | 994万9千円増額の理由について、当初の契約ではGIGAスクール構想に対応する環境設備設計がなかったため、無線アクセスポイントなどの校内ネットワーク整備にかかる費用を追加したものである。



◀移動販売車が市内全域に事業拡大

議案第25号 令和3年度白河市介護保険特別会計予算

Q | 介護特別会計の包括的支援事業・任意事業費、高齢者見守り生活支援事業委託における新年度の内容拡充について

A | 令和3年度は、7月末までに移動販売車を1台追加購入し、事業を拡大する予定である。これにより、移動販売の対象区域がこれまでの旗宿、表郷、大信、東地域から白河地域の市内全域に拡大される。

議案第33号 令和2年度白河市一般会計補正予算（第10号）

Q | 歳出予算で教育振興費、自宅学習用モバイルルーター購入費の減額補正

A | 小学校の自宅学習に使用する保護者貸し出し用のモバイルルーターを当初240台分予算計上したが、希望者が143人であったため不要となった購入費174万1千円を減額するものである。

議案第19号 令和3年度白河市一般会計予算

Q | 歳出予算、事務局学校教育一般管理費、QUテスト活用アドバイザー報償の詳細について

A | 市では、学級での子どもたちの人間関係、満足度を測るQUテストをすべての学校で実施し、学級づくりなどで成果を上げてきた。来年度は年2回QUテストを実施し、専門家である会津大学の尙間澤先生の指導助言をいただき、不登校やいじめの防止に努めていきたい。

Q | 歳出予算、子ども家庭総合支援拠点事業について

A | 本事業は、児童虐待の予防や迅速な対応をより効果的に行うため、子育て世代包括支援センターにおいて解決困難な要支援・要保護児童の諸問題を、専門的に調査・訪問・継続的なソーシャルネットワークなど必要な支援業務を行う拠点を設置する事業である。

付託された議案は、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。



令和3年4月、西三坂に開園した「認定子ども園らのみな」の現地調査を3月25日に実施しました。

認定子ども園
を現地調査

学校法人熊田学園佐藤慎一様、Lemniskate一級建築士事務所主宰岩橋亜希菜様から施設の説明を受けました。

小峰城城郭復元基金寄附金 寄附者は2月26日現在、875名

市道路線の認定についてのほか、議案11件が付託されました

- **議案第31号** 専決処分の承認を求めることについて【令和2年度白河市水道事業会計補正予算(第3号)】

Q | 2月13日に発生した地震災害の破損箇所について

A | 市内9箇所破損があり、2箇所は東及び久田野配水池側面から漏水、7箇所は給水管からの漏水である。

- **議案第27号** 令和3年度白河市水道事業会計予算

Q | 企業債償還金残高は

A | 令和2年度末企業債未償還残高は48億162万114円で、そのうち元金は42億8,874万9,751円、利息は5億1,287万363円である。

- **議案第30号** 専決処分の承認を求めることについて【令和2年度白河市一般会計補正予算(第9号)】

Q | 石切場市営住宅の被害について

A | 石切場4・5・6号棟で給水管の損傷などがあり、要因としては軟弱地盤による影響が大きいと認識している。

- **議案第33号** 令和2年度白河市一般会計補正予算(第10号)

Q | 社会資本整備総合交付金事業の補助率は

A | 事業の種類により異なり50%及び55%である。



東側丘陵地

Q | 小峰城東側丘陵樹木伐採後の切り株はどのように処理するのか

A | 伐採後の切り株について、根枯らし促進剤を利用し自然に近い形で土にもどす。

- **議案第19号** 令和3年度白河市一般会計予算

Q | 公園の老朽化した遊具の撤去について

A | 都市公園は長寿命化計画に基づき遊具の更新を、農村公園では老朽化し危険な遊具は撤去し、新たにベンチを設置。その他の公園は、遊具すべてを更新するのではなく、利用状況を勘案し検討する。

Q | 白河かるたについて

A | 白河市歴史的風致維持向上計画第2期の初年度の事業であり、実行委員会を組織し、子供たちが白河の歴史を楽しく学べるような「かるた」を作るものである。

付託された議案は、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。



成が楽しみです。

工事は第3期の令和5年度まで行われ、現在の校舎を利用しながらの建設であるため、生徒の安全を最優先に施工されています。現在施工中である1期工事は、10月完了予定で、新屋内運動場や一部の新校舎が利用できるようになるため、完成が楽しみです。

白一中建設現場
を現地調査

令和2年6月から工事が行われている白河第二中学校建設事業の現地調査を、4月5日に実施しました。担当課職員から進捗状況や作業工程の説明を受けた後、建設現場を視察しました。

合併から15年の歩みとこれからの市長に問う

「真の地方の時代」に向けた白河を創るため、自ら考え行動する



北野 唯道 議員

問 合併から15年。地方自治の原点に立った地域づくりについて市長に伺う。

答 市長就任当時は、平成の大合併が一段落し、少しずつ浸透してきた地方分権の理念のもと、各自治体が地域の特色を活かした振興策を進めようとしていた時期である。新市の均衡ある発展と一体感の醸成に目配りするとともに、歴史や文化など足元の資源を活かしつつ、不足するものを外部から取り入れる内発的發展が大事であるとの考えに立ち、市政を運営してきた。

問 合併特例債の利活用について。合併後15年が経過し、これまでに発行された特例債の状況はどのようになっているのか伺う。

答 令和2年度までの合併特例債活用額は約201億円である。主な活用事業は文化交流館整備事業で約41億円、小中学校建設事業で約37億円、道路整備事業で約22億円となっている。



問 発行可能な特例債の残額はいくらか。

答 活用上限額は221億4450万円で、令和2年度末残額は約20億円となっている。

移住・定住先として選ばれるような魅力的な白河の施策について

社会的潮流を好機と捉え、白河暮らしの魅力発信に特色ある施策を講じる



佐川 京子 議員

問 移住定住推進について

答 白河に暮らす私達自身が心地よいと感じるものは、移り住む人にとっても同様に受け入れられるものと考え、双方が暮らしやすいと感じられる、魅力あるまちづくりを進めていく。

問 複合施設整備の生涯学習センターの内容について

答 令和3年度から基本設計に入るが、市民から幅広く意見を伺いながら進める。基本計画では「生きがいづくり機能」として公民館的機能が入った「生涯学習センター」を整備する。

問 マイタウン2階東側・南側の遮光対策について

答 利用者協議会で意見を聞き、ブラインドやカーテンの設置など検討する。

問 学校規模の適正化に係る本市の方針について

答 小規模化の学校があるので文部科学省の手引きを参考に本市の方針を作成する。

問 五箇中について

答 生徒数の推移から必要規模確保は困難であり、多くが統合に前向きなので、総合的に判断し令和6年4月に中央中学校と統合する計画を作成した。



マイタウン白河（本町）の遮光対策を！

米価下落に対する支援を！



状況により検討が必要と考える

根本 建一 議員

問 新型コロナウイルス感染拡大により、外食産業への供給比重が大きい本県産米は、大きな影響を受け、昨年は1俵あたり2千円から3千円の下落となり、本年産米においても、千円以上下落する事が懸念されている。コロナ禍による農業経営継続支援として捉え、市として支援すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 今後急激な価格下落により、経営が圧迫される場合は、経営継続につながる支援を検討する必要があると考える。

「カメムシ防除支援体制の構築を！」

問 近年カメムシによる被害により、格付け等級の低下が目立ってきている。適期の駆除情報の提供や喚起また、防除作業は重労働となるため、作業支援の体制づくりが必要と考えるが、市の見解を伺う。



答 回覧等での確な防除方法について注意を促す。また、ドローンによる防除が普及してきたことから、JAや事業者と防除支援について検討していく。

思いやり条例の今後の周知はどう行うのか



「広報しらかわ」に特集を掲載する

室井 伸一 議員

問 昨年9月に制定された思いやり条例について、市民からどのような反応があったのか伺う。

答 市民の皆様からは「新型コロナウイルスにより誰もが差別や偏見を身近に感じ、社会の基本的なルールである人権を考える良い機会になったと思う」、「新型コロナウイルスの影響について様々な面から考えることができた」などの意見をいただいた。さらに、人権擁護委員からは「時宜を得た条例制定であり、人権擁護活動を推進する上でも大きな力になり、非常に喜ばしい」との声が届いている。

問 思いやり条例を教育の一環として、子どもたちに学ぶ機会を設けているのか伺う。

答 市内の小中学校では、思いやり条例の制定後すぐに全校集会で取り上げ、その趣旨や内容について児童生徒に知らせ、思いやりやいじめ防止の必要性を考えさせる機会とした。今後ともさまざまな機会を捉えて思いやり条例の趣旨を取り上げ、児童生徒への定着や保護者への周知を図ってまいります。



試される「行政力」とは？

将来像を示し、課題を解決する力。まさに試される時代。的確な判断と実行力で乗り越えていく。



藤田 文夫 議員

問 試される「行政力」について市長の見解を伺う。

答 行政力とは、市の将来像を示し、それに向かって課題を解決していく力であると考えている。将来を見通しづらい今の時代においては、様々な情報のチャンネルを持ち、現状を分析して時代の趨勢^{すうせう}を読み具体的に政策に落とし込んでいく力が大事である。私自身、国の官僚、他の首長、企業のリーダーなど、各方面の方々と意見交換をする中で、今後の方向性を示せるよう努めている。今、コロナや人口減少への対応など様々な困難が立ちふさがっており、まさに行政の力が試されている。このため、市民や各種団体等の知恵やアドバイスもいただきながら、時代の潮流を読む努力を重ね、的確な判断と実行力で乗り越えていく考えである。

問 被災した鶴子山公園の遊具の復旧について伺う。

答 国の災害査定後、速やかに復旧工事に着手し、令和3年度末の完成を見込んでいるが、できる限り早期の復旧に努める。



2/13発生した地震で被害を受けた鶴子山公園(表郷金山)の遊具。子供達のために早期の復旧を！

白河の魅力発信について伺う

「足元にある資源」を活かした白河のPRを行う



鈴木 裕哉 議員

問 軽自動車のCM放送により、白河駅が全国的に注目を集めるなど、フィルムコミッション事業が市のPRに効果的であった。今後の展開を伺う。

答 映画や文学作品に登場することで脚光を浴び、観光客の増加や経済の活性化が期待できる。本市には「武士の一分」で使われた「小峰城」、渋沢栄一と縁のある「南湖公園」、古代から有名な「白河の関」などの素材が数多くある。また、東京から近い利便性から撮影場所には選ばれる可能性が高い。この事業には知

名度を上げるほか市民の方々に足元の素晴らしい資源に気づいて誇りを感じてもらおう効果もある。引き続き積極的に働きかけていく。

問 こども食堂への支援について伺う。

答 市内4箇所の子ども食堂へ業務委託や補助金の交付を行っている。「子供が安心して過ごせる居場所」を目的に食事の提供や学習支援を行っている。核家族が増える中、地域全体で子供を育て見守るために今後子ども食堂と連携を図り支援していく。



白河駅



コロナウイルス禍後の市長のトップセールスについて

地域資源に磨きをかけ企業誘致を進める



戸倉 宏一 議員

市長のトップセールスについて

新型コロナウイルス禍後における企業誘致の方向性について伺う。

都市として総合的な魅力が必要。医療、教育、文化等、地域資源に磨きをかけ、住みよいまちづくりを進め、今後、コロナが落ち着いた際には、これまで以上に、積極的なトップセールスにより企業誘致を進める。

原発の風評被害も収まらないなか、コロナウイルス感染拡大により、地域農産物価格が低迷している。市の取り組みを伺う。

風評被害が年々減少するなかで、今回のコロナウイルス禍になってしまった。今後は、周辺自治体、農協と連携し、トップセールスや販売促進イベントを通じて地域農産物の魅力をPRする。

有害鳥獣対策について

イノシシなど有害鳥獣被害が高止まりである。狩猟免許保有者の方も高齢化している。対策を伺う。

実施隊の減少、高齢化は認識している。県猟友会等連携し、対策を強化する。



イノシシにより荒らされた水田（白坂五器洗地区／令和元年7月撮影）

コロナ禍継続のもと複合施設建設計画の延期が必要では？

市民生活に影響ない積立基金等の財源ゆえ延期は必要ない



荒井 壽夫 議員

経年劣化した公民館の移設の必要性の観点から複合施設の建設には賛成だが、コロナ禍の継続による農工商業者の苦境、非正規労働者の失職や減収等と地域経済の沈滞、他方、自治体による医療・感染症対策充実、事業者支援、消費喚起策、生活困窮者支援の実施は、税収減と財政調整基金取り崩し等、全国で財政運営困難を帰結した。建設計画延期が必要ではないか。

本市の市税は、他市と比較し、安定した税目である固定資産税が52%と高く景気に影響されやすい法人市民税は8%で低い。地域経済沈滞への支援は、主に国の臨時交付金に依拠し、複合施設の財源は合併特例債と公共施設等整備基金そして国の補助金等を見込み、税収減が市民生活に影響しないように努め、現在のところ計画延期は必要ない。

第3次白河市環境基本計画案の方向性具体化として再エネ発電事業の農林業

振興・雇用との連結の仕組み創設が必要ではないか。

計画期間10年だが、適宜見直し具体化検討する。

複合施設の概算事業費

	規模	概算事業費（税抜）
複合施設・本体工事費	約5,000㎡	約25.0～35.0億円
複合施設・連絡通路工事費	—	約0.8億円
本庁舎・連絡通路接続部改修工事費	—	約0.6億円
本庁舎・立体駐車場整備費	約150台	約5.0億円
土木工事費	—	約3.7億円
合計	—	約35.1～45.1億円

※今後の検討の進捗状況や物価変動など社会経済情勢の変化により変更となる可能性があります。



SDGs（持続可能な開発目標）17の目標

希望する児童が放課後児童クラブに入れるように

支援員の確保に努めた結果、待機児童は大幅に減少する見込み



石名 国光 議員

問 行政経営改革プランのマネジントを市長に伺う。

答 行政改革とは、市民が何を考えているのかを常に考え、日常業務の中で一人ひとりが改革意識を持ち、業務に取り組むことが必要である。市は柔軟かつ効率的な自治体経営と持続可能な行財政運営を推進していくため、市政全般にわたり不断の見直しによる行政改革に取り組んでいく。

問 放課後児童クラブの現状、課題と対策について。

答 入会希望児童の増加及び慢性的な支援員不足により待機児童の発生が課題であった。支援員の確保に努めた結果、来年度は支援員を増員でき、令和3年度は待機児童を50人以下まで大幅に減少する見込み。今後待機児童の解消に取り組む。



問 障がいを持つ児童の児童クラブ受け入れについて

答 クラブでの生活が心配な保護者には、事前相談や見学をしてからの申し込みを進めている。入会を希望する児童が、クラブの利用条件を満たしていれば(集団生活を送れる)障がいを抱える児童を含め、全ての児童を受け入れている。

シティプロモーション(愛着や誇りを醸成する取組)、市長の考えと職員への指示は?

素材を最大限に活かし全庁挙げて取り組むよう指示 オール白河で売り込む



高橋 光雄 議員

問 本市のシティプロモーションについて、市長の考え及び職員への指示をどうしているのかを伺う。

答 これまで本市の魅力を外に発信してきた。本市のシティプロモーションは、特定の組織だけが担うものではなく、各部署が意識をもって、担当する分野の素材を最大限に活かすことを基本に、全庁を挙げて取り組むものと考え指示している。外に対しては、行政と市民による情報発信を効果的に融合させ、オール白河で売り込む。

問 渋沢翁と定信公の関係性を広く周知し、シティプロモーションの武器とするため、何を行うのか。

答 南湖公園魅力発信事業実行委員会を立ち上げた。定信公と渋沢翁の「のぼり旗」を作り、設置した。ウオーキングイベントや渋沢資料館副館長の講演会を実施した。今年は、南湖七景を巡るウオーキングイベント、竹灯笼によるライトアップ、出身地である埼玉県深谷市との交流や渋沢翁にちなんだ食事メニューを開発する。



定信公と渋沢翁の関係を広く周知を!

原発事故から10年、市民・県民の健康はどうなる？

県民健康調査の継続を求め、市民の健康を守る考えである



大竹 功一 議員

問 東日本大震災から10年、原発事故後、開始された県民健康調査。今後の調査は。

答 市民の健康が重要と考え、県及び関係機関に対して継続を求めていく。

問 令和3年度も予約型乗合タクシーの実証実験が継続される。現在の問題点は。

答 コロナウイルスの影響もあり利用実績が少ない。今後は事業を通して実態やニーズを十分把握していく。



問 いくつかの自治会長から民生児童委員のなり手不足の相談がある。実態と改善策は。

答 現在2名の欠員となっているなど各町内会とも人選には苦労していることが多くと聞く。今後は町内会長と連携し、地域において適任と思われる候補者に対し、民生児童委員の役割や活動内容を市としても十分に説明し、就任の理解を得られるよう働きかけ、人材の確保に努めていく。

問 ふるさと納税制度をボランティア活動事業に利用できないか。

答 手法が適当であるかなどを含め、今後検討していく。



接種会場は？副反応への対策はどのように？

「4月下旬」から高齢者へのワクチン接種開始



柴原 隆夫 議員

問 ファイザー社製のワクチン供給が懸念されているが、本市のワクチン接種の開始はいつ頃か、接種会場はどのようになるのか。副反応への対応はどのように、また、接種前の「相談コーナー」を設け、持病などの心配事への対応が必要と思われる。集団ワクチン接種には多くの課題があることから、接種訓練を実施することはどうか。

答 接種は4月下旬からを予定し、会場は白河で2、表郷・大信・東地区で各1か所を設け、副反応への対策としては各会場に1名の看護師を配置し、相談コーナーと同様の体制で対応する。また、ワクチン接種がスムーズに行くよう「接種訓練」を行う。

問 無自覚、無症状の若者が感染源となり家庭内感染を広めている。明日の白河を担う若者の成人にどのような対策を行い、祝ってあげるのか。

答 式典は5月4日のみどりの日を予定し、当初は1回での式典を予定していたが、3密を回避するため午前と午後の2部制で開催する。
※成人式式典はライブ配信に変更になりました。



接種会場のひとつである中央保健センターとマイナス80℃で保存する超低温冷凍庫



立地適正化計画における地域振興について

白河市総合計画等に基づき持続可能な地域づくりを進める



水野谷 正則 議員

問 立地適正化計画における地域振興について

答 総合計画等に基づき農林業の振興、雇用の場の創出、子育てや若者への支援、移住定住の促進、公共交通ネットワークの整備など、人口減少や地域経済縮小の抑制につながる各種施策を推進してきた。引き続き、総合計画等に基づいて持続可能な地域づくりを進める。説明会も開催し、計画の概要や振興策も説明する。

問 ひがし保育園建設について

答 地震の影響については、屋外スロープ部分のひび割れ、床仕上げ材の隙間や天井エアコンのずれが発生したが、建物構造に影響するものではないと考えている。建物の使い方に係る意見については、担当部局や保育園と再度、早急に検証し、不具合の解消など、今後の対応を検討する。

問 白河第二中学校建設について

答 学校等の要望に対応しながら、バランスのとれた建設を心掛けている。



今後3年間の介護保険料は？

基金を活用し、介護保険料を据え置き



深谷 弘 議員

今後3年間の介護保険料

問 今議会に介護保険料改定の議案は出されていないが、据え置きになるのか。保険給付費及び地域支援事業費の設定、介護保険料との関係は実際にどうなったのか、介護給付費準備基金（令和元年度残高約4・2億円）の活用も含め、答弁を求める。

答 国の「計算システム」で保険給付費及び地域支援事業費を算定すると3年間で約176億円、介護保険料基準額月額額は6400円となる。しかし基金3億3800万円を活用し、現行月額5900円で運営可能と判断。被保険者の負担軽減を図った。

子育て世代への支援

問 就学援助を受けるためには申請が必要となる。しかし、対象となる家庭で申請しないケースもある。川崎市のように、市教委として積極的につかみ対応する必要があるのではないか。

答 現在、全児童生徒を対象に制度のお知らせや関係書類の配布、入学説明会での案内を行っている。これに加え、今後は周知徹底を図り、全保護者に希望の有無を確認する方法にし、万全を期すようにしたい。



①中央公民館②東公民館③大信公民館の建設について

表郷公民館以外3公民館は令和3年～8年にかけて検討する



大花 務 議員

問 表郷公民館以外3館建設と施設の不備について

答 中央公民館は、今後も維持すべき施設であるが老朽化が著しく用地も借地となつている。新設及び既存施設の利活用も含め様々な視点から検討し複合施設の整備状況を踏まえて令和3年から8年にかけて検討する。施設の不備は雨漏りや配管の腐食等があり適宜修繕をしている。敷地の賃貸借は公民館並びに教育施設の建設を条件に昭和40年11月1日より令和7年10月31日まで60年間賃貸料を無償で契約を締結している。東公民館は東庁舎・東農業技術センターとの複合化を令和3年から8年にかけて検討する。施設の不備は老朽化が著しく建物及び設備に不具合が発生し令和2年度は備え付けの暖房機器が故障し修繕した。大信公民館は、庁舎及び保健センター・農村環境改善センターとの複合化を令和3年から8年にかけて検討する。施設の不備は老朽

化が著しく、令和2年度は2階の和室が雨漏りにより天井の一部が抜け落ちてしまい修繕を行った。



①中央公民館



②東公民館



③大信公民館

議員提出議案・請願・陳情・意見書

3月定例会で審査された議員提出議案・請願・陳情・意見書について、その内容と結果についてお知らせします。

◇議員提出議案

案件番号	案件名・概要	議決結果
意見書案第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決（全会一致） 関係機関に意見書を提出しました
議会案第1号	白河市議会委員会条例の一部を改正する条例 議員の委員会欠席理由として育児や介護等を追加し、産前・産後の欠席することができる期間を定めるため所要の改正を行うもの。	原案可決（全会一致）
議会案第2号	白河市議会会議規則の一部を改正する条例 議員の本会議欠席事由として育児や介護等を追加し、産前・産後の欠席することができる期間を定めるほか、採決システムによる表決（ボタンによる採決）の導入に伴い所要の改正を行うもの。	原案可決（全会一致）
決議案第1号	将来を見据えた新型コロナウイルス感染症対策に関する決議 ※概要は3頁に記載	原案可決（全会一致）

◇請願議案

案件番号	案件名・概要	議決結果
請願1 日本労働組合総連合会 福島県連合会白河地区 連合会議長	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願 1. 福島県最低賃金は、昨年同程度を目標に引き上げをはかること。 また2019年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針」の「より早期に全国加重平均1000円になることを目指す。」とした方針に基づき、相応の引き上げを行うこと。 2. 中小・地場企業に対する支援策等を強化し、最低賃金の引き上げを行う環境を整備すること。 3. 福島県内の労働力確保、人口流失抑制・防止を見据えた金額とすること。 4. 一般労働者の賃金引き上げ時期を踏まえ、福島県最低賃金の改定諮問時期を可能な限り早め早期の発効に努めること。	採択（全会一致）

◇陳情議案

案件番号	案件名・概要	議決結果
陳情2 福島県医療労働組合連合会	看護師と介護従事者の特定最低賃金を新設するための意見書提出を求める陳情 看護・介護の深刻な人員不足と賃金の地域間格差を解消するため、「看護師と介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書」を提出すること。	不採択（賛成少数） ※令和2年12月定例会で継続審査になった陳情 【不採択の理由】医療保険制度と介護保険制度では、事業収入の仕組みに大きな違いがあることから、医療事業所と介護事業所で働く労働者の賃金増は別なものとして扱わなければならないと判断したため。

6 月定例会の予定 正式には6月17日の開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

6月17日(木) 本会議【開会、会期決定、提案理由説明】
23日(水) 本会議【一般質問・質疑1日目、委員会付託(請願・陳情)】
24日(木) 本会議【一般質問・質疑2日目】
25日(金) 本会議【一般質問・質疑3日目、委員会付託(議案)】
28日(月) 委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
30日(水) 本会議【各常任委員長報告、質疑、討論、表決、閉会】

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。

本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。

こちらのQRコードを読み込んでください。



人事案件

議会に同意を得るために提出する議案が人事案件。3月定例会で同意された方を紹介します。

○人権擁護委員の任命に同意

塩田 英夫 氏 (大信中新城) 【任期 令和3年7月1日～令和6年6月30日】

14名が人権擁護委員に委嘱されており、憲法で保障されている地域住民の基本的な人権の擁護と人権尊重思想の普及高揚を目的として活動しています。

健康寿命を延ばすための行政課題を再発見

2月2日、白河厚生総合病院の前原和平名誉院長を講師にお招きし、議員研修会を議場で開催しました。

研修会では県民の疾病構造の解説をはじめ、生活習慣が寿命に大きく影響することなどについて、資料を交えながらご講演いただきました。



～議員研修会を議場で開催～



今後も、市民の代表として議員一同、市民の健康づくりの推進に努めてまいります。

議会報編集委員会



吉見 優一郎

高島 裕

柴原 隆夫

山回 耕治

◎水野谷正則

◎室井 伸一

◎委員長 ◎副委員長

「洪沢栄一」が敬愛した松平定信公と南湖神社
新紙幣1万円札の肖像画となる洪沢栄一は、8代将軍徳川吉宗の孫で白河藩主の松平定信公を敬愛し、白河町に定信公を祀る南湖神社の地鎮祭(立柱祭)に出席し多額の寄付等を行い神社創建に尽力し、最期の将軍 徳川慶喜に仕えました。
洪沢栄一は大阪紡績会社と第一国立銀行を設立しました。また、東京ガス、東京海上火災保険、帝国ホテル、キリンビールなど5000以上の企業設立に助力し、明治の近代化に労を尽くしました。人格は「私利を追わず」で、亡くなった時にはほとんど自分の財産を残しておりませんでした。

柴原 隆夫 委員

編集後記